

製 品 安 全 デ ー タ ー シ ー ト

1. 製造者情報

会 社 名 金田インキ製造株式会社
住 所 大阪市中央区東平2丁目2番10号
担当 部門 研究開発部
電話番号 06-6768-5757 F A X 番号 06-6768-5514
緊急連絡先 第17項 ①、③ 参照
作成日 1971年10月1日 改版日(4版) 2007年11月1日

2. 商品名及び用途 ニュートップクリーン (印刷インキ洗浄剤)

3. 物質の特定 単一製品・混合物の区別 混合物
化学名 洗浄用調配合剤
成分および含有量 炭化水素系溶剤 約28%
非イオン活性剤乳化物 約72%
国連分類 該当しない
官報公示整理番号・化審法番号 : 既存

4. 危険有害性の分類 分類の名称: 該当しない
危険性 : 火災・爆発性ない(自己消化性) 消防法=非危険物
有害性 : 皮膚や眼に対し、弱刺激性がある
環境影響 : 製品の河川等への流出は、環境に影響を及ぼす恐れがある

5. 応急措置 目に入った場合 多量の水で15分以上洗眼し、もし刺激が残っていれば、
医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 ウェス等で拭き取り、石鹼水でよく洗い落とし、皮膚
調整用クリームを塗布する。
吸入した場合 風通しの良い場所に移動し、新鮮な空気を吸わせる。
飲み込んだ場合 吐き出さないで、直ちに医師の診断を受ける。

6. 火災時の措置 消化方法 : 火元への燃焼源を断ち、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する、風上より消化剤を使用して消火する。

消火剤 : 炭酸ガス・粉末・泡沫消火器・大量の水が有効である。

7. 漏出の措置 少量の場合はウエス等で拭き取り、空容器に回収する。
大量の場合は盛り土等で囲って拡散を防止してから、ウエス或いは吸着マットなどで空容器に回収する。

残りを水で洗い流す場合、流水した汚水が環境に及ぼさない様注意する。

8. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を充分に行う、容器を転倒させ、落下させ、激震を加え又は引きずる等粗暴な取扱いをしない。

保管 容器はみっ密栓して直射日光を避け、常温以下の一定場所に保管する

9. 暴露防止措置 管理濃度 設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会（1990年度版）設定されていない

ACGIH（1991/1992年度版）設定されていない

設備対策 常温で取り扱う場合は不要、高温での取扱いでミストが発生する場合は、ミスト除去装置が必要。

保護具 呼吸用保護具：ミストが発生する場合は防塵マスクを着用する。

保護眼鏡 : ミストが発生する場合は着用する。

保護手袋（ゴム手袋など）保護衣を着用する

10. 物理／化学的性質 外観等 : 油臭を有する乳白色のクリーム状の液体

比重 : 0.8～0.9

粘度 : 0.6～1.2ポイズ（25°C）

溶解度 : 任意に乳化、分散

1 1. 危険性情報

(安定性・反応性) 引火点 : 測定データなし
発火性(自然発火性、水との反応性) : なし
酸化性 : なし
自己反応性・爆発性 : なし
粉塵爆発性 : なし
安定性・反応性 : 安定性 良・反応性 なし
その他 : 有用な情報なし

1 2. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性 : なし
刺激性 : (皮膚・眼) あり
急性毒性 : 測定データなし
その他毒性 : 測定データなし
ガン原生 : 測定データなし
変異原生 : (微生物、染色体異常) 測定データなし
催奇形性 : 測定データなし
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : なし

1 3. 環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし
その他 : 有用な情報なし

1 4. 廃棄上の注意

本品並びに使用後の廃液は、ドラム缶等に入れ、転倒しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。
焼却する場合は、産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
外部委託の場合は、廃油(可燃性)であることを明記して廃油等を扱う産業廃棄物処理業者に委託する。

